

農業後継者育成基金事業

令和6年度農業青年組織等活動活性化事業(地域青年農業者活動活性化助成)

事業主体名 飛翔クラブ

1 目的

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、近年、農家同士が交流できる機会が減少し、青年農業者らの横の繋がりの場が減少しつつある。そこで、組織内や他地区組織間の情報収集・共有する機会を増やし、青年農業者の活動がより盛んになることを目的に、先進技術を用いた農家の視察研修や組織間交流会等の活動を計画した。

2 実施状況

(1) 3地区(始良, 曾於, 日置)交流会

いちき串木野市で開催された「農業青年クラブ地区間交流会」に参加した。3地区(始良, 曾於, 日置)が持ち回りで担当する交流会では、夢ファーム(集落営農組織)、JA さつま日置果実選果場、加温「大将季」栽培ハウス(日置地区青年クラブ会長)を視察した。懇親会の場合も含め、経営安定を図るための取組や目標を語り合う有意義な機会となった。



「大将季」栽培ハウスを視察

(2) 視察研修の実施

宮崎県宮崎市民文化ホールで開催された九州・沖縄地区青年農業者会議に出席し、各県の代表者が取り組む経営改善活動の発表を聴講しました。地域におけるクラブの情報や活動の波及性、リーダーとなることを意識する機会となった。

また、現地研修会では、(株)立久井農園(宮崎県えびの市)の露地野菜を視察し、クラブ員からは積極的な質問がなされた他、鹿児島県の他地区から参加した青年農業者とも自らの経営に関する活発な意見交換ができた。



現地研修会の様子

(3) 地域イベントへの参加

「鹿児島神宮 初午祭」での屋台出品販売に取り組んだ。初午祭は、約470年前の室町時代から始まったとされており、県内外から毎年10万人もの観客が訪れる歴史ある祭りです。屋台ではクラブ員が生産する農畜産物を使った焼きそばを販売した。焼きそばには、野菜やお肉がふんだんに盛り込まれ、屋台を訪れたお客様からも大変好評であった。

3 今後の課題、取組

地域内外における青年農業者との交流や先進地視察研修、出品販売活動を通じて、クラブ活動や各々が栽培する農産物を対外的にPRすることができた。次のステップとして他組織団体と農業理解促進に向けた共同企画の実施を検討している。



屋台にて焼きそばを販売